

会議録

会議の名称	令和2年度第1回加東市まちづくり推進市民会議		
開催日時	令和2年8月25日(火) 14時から15時30分まで		
開催場所	加東市役所 2階 201会議室		
議長の氏名 (座長 梅野巨利)			
出席及び欠席委員の氏名			
〈出席委員〉			
・古田照代	・松井 敏	・梅野巨利	・須田康之
・遠藤久男	・小島加津子	・井上綾乃	・植田真由子
・黒崎和子	・田尻信生	・平川米一	・南 椋太
・村上加奈子	・山本直樹		
〈欠席委員〉			
・山本洋介	・笠井郁男	・水戸 敬	
出席した職員の氏名及びその職名			
〈事務局〉			
・まちづくり政策部企画政策課長	下岡正裕	・まちづくり政策部企画政策課副課長	山本幸平
・まちづくり政策部企画政策課主査	村上計太	・まちづくり政策部企画政策課主事	山本 舞
〈事務局以外〉			
・産業振興部長	小坂征幸	・産業振興部農政課長	神戸 剛
・産業振興部農政課副課長	西山英希	・産業振興部農地整備課長	大橋博英
・産業振興部農地整備課副課長	進藤恭輔	・産業振興部商工観光課副課長	松末久美
・都市整備部長	大畑敏之	・都市整備部都市政策課長	長谷田克彦
・都市整備部都市政策課副課長	岸本孝司	・都市整備部都市政策課係長	勝田尚規
・都市整備部都市政策課主査	丸山聡司	・都市整備部土木課長	安則宏幸
・都市整備部土木課副課長	岸本純子	・都市整備部土木課係長	檜原武士
・都市整備部加古川整備推進室長	芹生和也		
議題、会議結果、会議の経過及び資料名			
1 議題及び会議資料			
(1) 副座長の選出			
【資料1】加東市まちづくり推進市民会議設置要綱			
(2) 報告・協議事項等			
ア 令和2年度加東市まちづくり推進市民会議における協議スケジュール・内容等について			
【資料2】令和2年度加東市まちづくり推進市民会議について			
【資料3】〔評価シート例〕令和元年度 第2次総合計画 前期基本計画 施策評価シート			
イ 第2次加東市総合計画前期基本計画の進行管理（施策評価）について			
【資料4】令和元年度 第2次総合計画 前期基本計画 施策評価シート〔政策V・VI〕			
2 会議の経過 別紙（第1回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過）のとおり			

令和2年10月5日

座長 梅野巨利
副座長 松井敏

(別紙) 第1回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	1 開会 2 座長挨拶 3 副座長の選出 4 報告・協議事項等 (1) 令和2年度加東市まちづくり推進市民会議における協議スケジュール・内容等について ○資料について事務局から説明 (2) 第2次加東市総合計画前期基本計画の進行管理(施策評価)について ○政策Ⅴ主要施策(30)、(31)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】
委員 課長	◆主要施策(30) 力強い農業経営の実現 ・まちづくり指標の認定新規就農者数で、目標6者に対して実績が3者となっている。どのように新規就農者数を増やそうとしているのか。 ・募集については、新規就農希望者から申し出があつて動き出すというのが現状である。その他としては、新規就農者向けの補助金や学校があるといったことをPRしている。また、市内では少数であるが、専業農家の方の子どもにお願いして何とか新規就農者を確保している。
委員 課長 座長	・集落営農組織数についても伸び悩んでいるようであるが、頑張っているところは何かあるのか。 ・現在、1件組織しようとしているところがある。 ・一次評価はBであるが、それで良いか。 「異議なし」と呼ぶ者あり ・二次評価もBとする。
委員 座長	◆主要施策(31) 農産物のブランド力向上と生産拡大 ・取組評価は全て「●」であるがまちづくり指標の1つが目標を達成していないためB評価とした旨の説明があつたが、達成率が94%というのは、それほど悪い数字なのか。結論を言うと、A評価でもいいのではないのか。 ・昨年度から議論になっているが、まちづくり指標が1つでも100%を下回ると、市としては一次評価をBとする方針のようである。しかし、二次評価は別であり、Aでよいのではないのかという評価であれば、そのようにすることができる。一次評価はBであるが、A評価で良いか。 「異議なし」と呼ぶ者あり ・二次評価はAとする。
座長	○政策Ⅴ主要施策(32)、(33)の一次評価内容について担当部署から説明 ◆主要施策(32) 農村環境の整備等の推進 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 「異議なし」と呼ぶ者あり ・二次評価もBとする。
座長	◆主要施策(33) 鳥獣被害対策の推進 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 「異議なし」と呼ぶ者あり ・二次評価もBとする。
委員 副課長 座長	○政策Ⅴ主要施策(34)～(36)の一次評価内容について担当部署から説明 ◆主要施策(34) 商工業の振興 ・主要施策(34)～(36)全体においてセミナーや創業支援を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響を加味して評価しないのか。また、将来的に目標を見直すということはないのか。 ・主要施策を構成する主な事務事業のR1事後評価においてセミナーや事業が実施できなかったものは成果を「△」としている。 ・令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける時期は短い。新型コロナ

座長	ナウウイルス感染症による目標値の見直しについては、すぐには答えることができないと思う。 ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(35) 観光の振興 ・市内ゴルフ場を利用する外国人旅行者452人に対して交通費を助成しているとのことであるが、この事業は旅行会社に対して案内しているのか。また、市の外国人旅行者の総数はどれくらいか。
副課長	・外国人旅行者への交通費の補助は、加東市観光協会において実施している。もともとは県が外国人旅行者の誘致のために行っているものであり、県は交通費の2分の1を、市は4分の1を補助している。また、市の外国人旅行者の総数は把握していない。
委員	・主要施策(36)もだが、取組評価が全て「●」で総合評価が「B」である場合、改善事項等の欄に今後の取組みが書いてある方がわかりやすいのではないか。
部長	・御指摘のとおり、総合評価が「B」であるものについては、改善事項を追記する。
事務局	・今年度の評価対象である政策VからXまでの全ての二次評価が確定した段階で、結果をホームページで公表する予定である。その際には、いただいた御意見を反映させるので御了承いただきたい。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(36) 労働・雇用の促進 ・まちづくり指標となっている就労に関する相談件数と女性向け就労支援セミナー受講者数については、大切なことではあるが、それをやってどれくらいの人が職に就いたかということがわからない。どれくらい期待に応えることができたかということがわかるようにしてもらいたい。
副課長	・就労に関する相談から雇用に結びついた件数は把握しているが、就労支援セミナーの受講者に関しては、把握できていない。まちづくり指標については、後期基本計画策定の際に検討する。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もBとする。
	○政策VI主要施策(37)、(38)の一次評価内容について担当部署から説明
委員	◆主要施策(37) 安全・快適で機能的な道路整備等の推進 ・通学路の交通安全についてであるが、滝駅付近で宅地開発され、子どもの数が非常に増えたが道路は以前のままで車のほうが優先されているように思う。運転者から学校に苦情も入ったこともあるようである。
部長	・通学路の交通安全プログラムにおいて、学校、行政、警察が毎年、協議をして整備できるところは整備し、長期的に対応策を検討すべきところは検討していく。
委員	・優先順位もあると思うが、安全に登下校できるようにしてもらいたい。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕 ・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(38) 河川改修等の推進 ・加古川の改修は、洪水被害の軽減が目的であると思うが、まちづくり指標の実績値のとおり、進捗率は67%であるのか。
室長	・67%については、築堤のための用地取得の進捗率である。築堤に関しては計画している2.7kmのうち0.9kmが完成したということで進捗は33%である。
委員	・洪水が起こるといった危険な場所が少なくなっているということか。

室長	・現在改修を行っているのは、加古川流域でも珍しい無提地区の築堤、掘削である。実際に完成するのはまだ先ではあるが、事業は進んでおり、昨年と比べても水位は低下しているという効果も出ているため、今後も努力を続けたい。
委員	・毎年、総合評価Aで、どんどん危険なところがなくなるようにしてもらいたい。
座長	・一次評価はAであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
	・二次評価もAとする。
座長	○政策Ⅵ主要施策(39)、(40)の一次評価内容について担当部署から説明 ◆主要施策(39) 持続可能な都市基盤整備の推進 ※質疑応答なし
	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
	・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(40) 安全・安心で良好な住環境の形成
課長	・住宅の耐震診断、耐震改修に対する補助は希望者だけか。
委員	・住宅の家主からの申請により補助をしており、全軒実施しているわけではない。
課長	・空家は、どのようにして把握しているのか。
	・平成30年度に住宅地図を参考にして、現地調査により初めて認定したのが成果欄に記載している1,606件である。それ以降は、その1,606件の追跡調査や空家パトロールを実施して増減を確認している。今年度においては、市で把握している空家を地図に表示し、全ての地区の区長様に地元の認識と合致しているかを確認していただいている。今年度中には、空家の実態数を概ねとらえることができると考えている。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
	・二次評価もBとする。
	5 その他 今後の会議開催日程について
	○事務局から説明
	6 閉会